おわりに

浪江のこころプロジェクト プロジェクトリーダー
高崎経済大学地域政策学部教授
櫻井常矢

この度、『浪江のこころ通信』（以下、『通信』）がひとつの区切りを迎えることになりました。２０１１年７月１日の創刊から11年近く、これまで『通信』を支えてくださった町民の皆様、取材協力者の皆様、そして浪江町役場の皆様に心から感謝申し上げます。

『通信』は、これまで全１１９号が発行され、取材件数（『通信』掲載数）は４６６件、取材協力者は延べ１３２人となります。『通信』の発足から今日までをふり返り、数字の上での重みはもちろんのこと、積み重ねてきた出会いの一つひとつなど、その歩みの貴重さをあらためて実感しています。この総集編もまた、２０１４年３月（第１回）、２０１７年12月（第２回）に続き、今回で３回目の発行となります。これまでの経過をふまえ、あらためて『通信』が残したものは何か。最後に、その意味を私なりに考えてみたいと思います。

第一にお伝えしたいのは、『通信』が人びとの「想いの記録」であることを大切にしたことです。東日本大震災によって一人ひとりが失ったもの、悲しみ、悔しさ、避難先での出会い、喜び、これからの生き方への戸惑いや焦り、そして未来への一歩を踏み出そうとする力など、実に様々な想いに私たちは出会いました。そしてこうした想いを、何か一つの方向にまとめるのではなく、遠く離れた町民の皆様がともに共有できる環境づくりをひたすら目指しました。この取り組みを通じて学んだことは、ひとは決して前向きな話ばかりではなく、悲しみを共有するだけでも元気になれるということです。お互いの「違い」や「同じ」を確かめること。まさに〝こころ（心）〟の通信の意味がそこにあります。私どもの提案した『通信』を受け入れてくださ

り、これを着実に前進させていただいた馬場有元町長は、町政に対する厳しい町民の声を含め、すべての言葉をありのままに掲載することを最後まで貫かれました。前例のない広域避難という緊急事態の中で、『通信』はその時々の人びとの心をそのままに伝え、互いをつなぐことで一人ひとりの復興を支えようとしました。

第二に『通信』は、震災復興のプロセスにおいて、町民の皆様が直面するに幾多の困難を乗り越える一助になろうとしたことです。「帰還困難区域」「居住制限区域」「避難指示解除準備区域」への区域再編（２０１３年８月）、そして帰還困難区域を除く避難指示解除（２０１７年３月）など、それ自体が復興への道程ではあるものの、その都度、町内にある地域（行政区）や町民の皆様の「分断」が現れたことも一面としてありました。特に２０１７年の一部避難指示解除は、それまで福島県内外のいずれに住んでいてもすべての町民にあった「浪江町に戻りたくても戻れない」という共通項がはずれ、町に「戻る者」と「戻らない（戻れない）者」という見方を導くことにもなりました。一部避難指示解除は、町民の一人ひとりの心情やお互いの関係をより複雑なものへと変えつつあるなかで、取材協力者たちはそのことを意識し、「分断」ではなく人びとがともに生きる道筋を『通信』をとおして実現したいと願い、この取り組みを続けました。

そして第三に、浪江町の皆様のふるさとへのこだわりが『通信』を支えたということです。『通信』は、まだ浪江町役場が二本松市東和支所にあった２０１１年４月、私自身の提案として誕生したものでした。この経過については、第１回目の「総集編」に詳細に書いていますが、当時は役場も大混乱でしたので、町民の避難先（所在地）も不明な中で各地を訪問取材し、その声をまとめて毎月発行するなど途方もないことだとの受け止めでした。それでも、志ある役場職員や取材協力者の協力のもと、『通信』は動き出しました。そして11年近い歳月を、様々な課題に直面しながらも地道に進んできました。あらためてふり返り、なぜこうした取り組みが実現できたのか。なぜ私たちは『通信』を続けることができたのかを自問するのですが、その答えはほかの何物でもない、取材の度にお会いする浪江町の皆様一人ひとりのふるさとへのこだわりだったということです。あるご夫婦への取材では、お互いがお互いのふるさとへの想いをあらためて知るなかで、ともに涙する姿がありました。都内のアパートの一室で、津波で亡くなられた夫の遺影を胸に抱きながら、しかし明るい表情で以前のように元気に生きていく決意を語ってくれた方もおりました。精神的につらい面持ちの母親の前で、あえて笑顔で浪江での想い出を話してくれたご姉弟にも出会いました。取材を通じて私たちの『通信』の取り組みを知り、「私も浪江町のために何か取り組みたい」と具体的な行動を起こした方もおられました。住んでいる場所、復興への思い、その後の生き方などは別々であっても、その背景には浪江町という共通のふるさとがありました。取材する私たちがうらやましく思えるほどのふるさとへのこだわりが、『通信』にかかわる者たちを突き動かし、11年にもわたって続けることができたのです。『通信』が人びとを支えたのではなく、町民の皆様のふるさとへのこだわりが『通信』を支えていただいたのだということです。

このようにふるさとを想う浪江町の皆様に出会えたことは、私たちにとっても貴重な財産となりました。『通信』を通じて出会えたつながりは、これからもずっと続いていきます。あの東日本大震災から今日までの浪江町の人びとの想いの記録が、皆様にとってのふるさとの一部となり、今後も皆様とともに歩み続けることを願ってやみません。これまでの取材へのご協力、そして『通信』を愛読していただいた皆様に心から感謝申し上げます。これまで本当にありがとうございました。

取材にご協力いただいた町民の皆様

※氏名は五十音順で取材時のものです

あ

浅野節子（室原）……68～69
浅野勇太（権現堂）……8
荒川勝己（請戸）……62
荒川勝己（加倉）……106～107
有賀春香（南相馬市）……94～95
安齋政夫（両竹）……53
安齋チエ子（両竹）……53
安倍義忠（権現堂）……50～51
池田チヨ子（谷津田）……61
石井あかね（棚塩）……22
石川史織（樋渡）……75
石川康夫（請戸）……49
和泉亘（権現堂）……88～89
伊丹眞二（赤宇木）……80
伊東勝子（権現堂）……60～61
伊藤幸治（川添）……24～25
伊藤暢秀（権現堂）……124
伊藤ハル子（樋渡）……61
井戸川あけみ（酒井）……72～73
犬丸富美子（富岡町）……34～35
岩倉和子（川添）……61
岩﨑仁紫（樋渡）……84～85
岩崎弘子（川添）……34～35
岩田康太郎（南津島）……77
氏家美智子（津島）……55
大清水善信（幾世橋）……68～69
大高充（川添）……88～89
大友皓示（大堀）……24～25
大友静子（大堀）……24～25
大原陽子（川添）……70～71
岡田有一（大堀）……129
岡田貞子（大堀）……129
岡部正人（権現堂）……16
岡部正則（権現堂）……78
押見敏昭（NPO法人地域活動サポートセンター柏崎）……94～95
落合正由（請戸）……50～51
小野田恵佳（小野田）……109

か

叶谷勇郎（幾世橋）……31
叶谷タケ子（幾世橋）……31
叶静江（北幾世橋）……61
鎌田正彦（幾世橋）……100
亀田和弘（樋渡）……52
亀田玲子（樋渡）……52
川﨑貫正（幾世橋）……50～51
川村博（幾世橋）……106～107
菅野富美恵（北幾世橋）……106～107
菅野美勇士（西台）……28
菅野智子（西台）……28
木村知宙（権現堂）……64
久保利江（川添）……79
久保田健治（樋渡）……63
久保田美智子（樋渡）……63
熊川善雄（権現堂）……34～35
熊田伸一（請戸）……15
古農満（酒井）……132
古場泉（幾世橋）……24～25
古場容史子（幾世橋）……24～25
小林奈保子（権現堂）……88～89
小松康二（請戸）……40～41
木幡遥香（権現堂）……37
木幡正行（田尻）……68～69
木幡信子（田尻）……82～83
木幡涼子（権現堂）……30
近藤賢（大堀）……96
紺野邦子（棚塩）……50～51
今野秀則（下津島）……126
今野満里実（南津島）……58
今野義雄（津島）……102
今野義人（赤宇木）……127

さ

斉藤たか子（高瀬）……82～83
斉藤仁也（酒井）……68～69
作間清子（室原）……68～69
佐々木和子（本宮市）……70～71
佐々木勝（藤橋）……84～85
佐々木理子（藤橋）……84～85
佐々木光恵（昼曽根）……103
佐藤キミ（権現堂）……82～83
佐藤啓子（棚塩）……131
佐藤信一（権現堂）……10
佐藤聖子（立野）……40～41
佐藤希（棚塩）……54
佐藤秀三（権現堂）……66
佐藤光琉（棚塩）……46
佐藤実（酒田）……36
佐藤美峰（川添）……29
佐藤恵（請戸）……34～35
佐藤安男（牛渡）……104～105
佐藤ユウ子（北幾世橋）……61
佐野久美子（南津島）……113
澤田俊子（加倉）……24～25
三瓶恵美（赤宇木）……13
三瓶春江（南津島）……12
志賀隆充（大堀）……125
志賀智恵子（樋渡）……60～61
志賀利明（北幾世橋）……27
志賀絹子（北幾世橋）……27
志賀伸子（川添）……90・128
清水裕香里（幾世橋）……116～117

柴恵美（請戸）……94～95
柴孝一（請戸）……133
柴タケ子（請戸）50～51・133
柴佳男（請戸）……47
柴美江（請戸）……47
島田有紀（権現堂）……81
白瀬美智男（田尻）……67
杉下博澄（葛尾村）……116～117
鈴木純（田尻）……70～71
鈴木大介（請戸）……111
鈴木辰行（樋渡）……104～105
鈴木千尋（権現堂）……14
鈴木敏範（権現堂）……14
鈴木好道（苅宿）……106～107
鈴木ミキエ（川添）……50～51
鈴木幸子（苅宿）……106～107
諏訪園厚子（川添）……101
瀬尾恵子（西台）……112
添田隆幸（権現堂）……134

た

髙木一子（川添）……82～83
髙木七美（幾世橋）……65
髙倉孝二（権現堂）……20
髙倉幸子（権現堂）……20
高田勝人（酒井）……72～73
高田トシ子（酒井）……72～73
高野一郎（請戸）……17
髙野豊（幾世橋）……40～41
髙橋俊正（赤宇木）……7
只野玲子（請戸）……119
田中ヨリ子（権現堂）……112
田辺美保（棚塩）……21
谷口豪樹（川俣町）……116～117
玉野紘成（請戸）……38
田村友正（北幾世橋）……104～105
鶴島一浩（苅宿）……92
鶴島孝子（苅宿）……92
戸川謙一（川添）……57
戸川瑛道（藤橋）……45
常盤香世（川添）……70～71

な

長岡新一（苅宿）……43
長岡仁子（苅宿）……43
長竹麻弘（川添）……130
中谷英一（酒井）……72～73
中野卓（高瀬）……48
中野フキ子（高瀬）……48
中野友子（立野）……61
中山徳子（権現堂）……118
西内隆（藤橋）……108
西内昭子（藤橋）……108
根岸淑子（立野）……50～51
能勢秀幸（樋渡）……68～69

は

畑中武（中浜）……42
原茂（酒田）……59
原田直之（高瀬）……68～69
林律子（幾世橋）……132
福塚裕美子（川内村）……116～117
古山優太（南津島）……19
細田和恵（棚塩）……60～61
堀川浩之（大熊町）……94～95
本田菜々（権現堂）……23
舛田玲香（棚塩）……26

ま

松田サツ子（権現堂）……60～61
松本サチ子（請戸）……18
三浦秀一（権現堂）……24～25
三浦和加子（権現堂）……24～25
見山ミチ子（大堀）……68～69
村井阿理沙（棚塩）……110
茂木文子（樋渡）……61
森川マツ子（加倉）……34～35
森野俊恵（川添）……99
森野裕子（川添）……99
門馬久敏（請戸）……24～25
門馬信子（請戸）……24～25
門馬文雄（請戸）……56
門馬けい子（請戸）……56
谷田きよ（権現堂）……84～85

や

八幡喜美男（室原）……82～83
八幡万里子（室原）……82～83
山田攻（牛渡）……68～69
山田和恵（小丸）……40～41
山田千鶴（権現堂）……33
山田四郎（立野）……93
山崎安男（権現堂）……122
横山悟（棚塩）……11
横山和佳奈（請戸）……123
吉崎ヨシ子（両竹）……84～85
吉田亀雄（樋渡）……86～87
吉田賢人（北幾世橋）……115
吉田敏英（苅宿）……68～69
吉田充雄（藤橋）……82～83
吉田範子（藤橋）……82～83
吉田百花（権現堂）……74

わ

脇坂明（権現堂）……9
渡邊浩二（双葉町）……94～95
渡部友綱（末森）……39
渡部一美（樋渡）……84～85
渡辺満（権現堂）……32
渡辺ルメ子（権現堂）……32
渡部恵子（北幾世橋）……86～87

取材者の皆様

※氏名は五十音順　氏名・所属等は取材時のものです

赤間政義（宮城県、一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム）
石山由美子（山形県、ＮＰＯ法人山形の公益活動を応援する会・アミル）
彌永恵理（福岡県、ＮＰＯ法人つなぎｔｅおおむた）
江川和弥（福島県、ＮＰＯ法人寺子屋方丈舎）
遠藤智栄（宮城県、地域社会デザイン・ラボ）
大澤　登（群馬県、ＮＰＯ法人高崎子ども劇場）
小川直美（茨城県、浪江町復興支援員）
掃部郁子（福島県、認定ＮＰＯ法人市民公益活動パートナーズ）
菊池康弘（茨城県、ＮＰＯ法人茨城ＮＰＯセンター・コモンズ）
佐々木　綾（福島県、浪江町役場）
佐藤伸博（北海道、一般社団法人北海道広域避難アシスト協会）
佐藤玲子（福島県、認定ＮＰＯ法人市民公益活動パートナーズ）
鴫原真由美（福島県、浪江町役場）
柴田裕美（山形県、ＮＰＯ法人山形の公益活動を応援する会・アミル）
下地美香（沖縄県、ＮＰＯ法人まちなか研究所わくわく）
新保絵梨（新潟県、ＮＰＯ法人くびき野ＮＰＯサポートセンター）
関根宏彦（群馬県、ＮＰＯ法人高崎子ども劇場）
高田　篤（宮城県、一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム）
竹内敏博（宮城県、一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム）
竹内　瞳（広島県、ひろしま市民活動ネットワークＨＥＡＲＴｔｏＨＥＡＲＴ）

竹下和輝（福岡県、ＮＰＯ法人つなぎｔｅおおむた）
中嶋淳栄（茨城県、浪江町復興支援員）
中島るみ子（宮城県、地域社会デザイン・ラボ）
鍋嶋洋子（千葉県、ＮＰＯ法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ）
橋詰康平（新潟県、ＮＰＯ法人くびき野ＮＰＯサポートセンター）
深田俊雄（福島県、バーグ・プラン研究室）
古山　郁（福島県、認定ＮＰＯ法人市民公益活動パートナーズ）
松田英明（福島県、認定ＮＰＯ法人市民公益活動パートナーズ）
宮道喜一（沖縄県、ＮＰＯ法人まちなか研究所わくわく）
村田直子（宮城県、一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム）
（浪江町復興支援員宮城県駐在）
森　美恵（茨城県、浪江町復興支援員）
谷津智里（宮城県、地域社会デザイン・ラボ）
八橋　誠（茨城県、浪江町復興支援員）
吉田菜々子（宮城県、一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム）